

# 利用しやすくなります

## 国民年金保険料の免除制度

国民年金制度は、二十歳以上六十歳未満のすべての人が加入する制度です。老後の老齢基礎年金のほか、万が一のときの障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取れる制度で、年金を受け取るためには二十五年以上の加入期間が必要です。

### 免除の取り扱い

国民年金の保険料は、現在月額一万三千八百六十円です。経済的な理由などで保険料の納付が困難な場合は、申請手続きをすること

により、保険料の納付免除または一部納付（一部免除）する制度があります。

これらの制度を利用する場合は、本人、配偶者、世帯主の前年所得が、それぞれ一定の基準額以下であることが条件です。

国民年金（基礎年金）の給付の三分の一（将来は二分の一）は、国庫負担でまかなわれているため、保険料が免除された期間は、老齢基礎年金を計算する際に国庫負担に相当する額が年金額に反映

されます。

### 免除制度の注意点

一部納付制度は、納付すべき一部保険料が未納となった場合は、一部免除が無効となり、老齢・障害・遺族の基礎年金の受給資格期間には含まれませんので、ご注意ください。

このほか、三十歳未満の人を対象とした「若年者納付猶予制度」や「学生納付特例制度」「法定免除」などがあります。

## 保険料の免除制度

これまでは…

- ①全額免除制度  
保険料の全額が免除
- ②半額納付制度  
保険料の2分の1を納付（残りは免除）

### 今年7月から

免除制度が4種類に変わります。

	月額保険料
①全額免除制度	0円
②4分の1納付制度	3,470円
③半額納付制度	6,930円
④4分の3納付制度	10,400円

詳しくは、住民課（☎役場内線121）へお問い合わせください。

## 第10回くずまき高原牧場まつり

2006年6月10日・11日 10:00~16:00

### すこい大道芸がやってくる



ポニー乗馬・馬車コーナー  
ちびっこ宝探し  
牛肉丸焼きコーナー  
乳搾り体験  
羊毛刈り体験  
動物ふれあいコーナー  
ステージショー  
など盛りだくさん

### 無料飲み放題コーナー



くずまき高原牛乳  
くずまき高原ヨーグルト  
12:00~14:00  
(2時間限定)

今年は無料焼き肉コーナーはありません。

## にぎ賑わい土曜日

町民総参加のイベント「賑わい土曜日」が今年も始まっています。

- 6月17日 午後2時~午後8時  
中央公園（葛巻小入り口）
- 7月15日 午前11時~午後6時  
社会体育館

## 支援します

### 光り輝くまちづくり



町では、地域づくり団体が自ら計画し、自ら取り組むまちづくり事業を支援しています。

### ◆対象

町内に居住または勤務している人が組織している民間団体で、ほかの組織や団体から資金援助を受けていないこと。

### ◆応募要件

5人以上のグループで組織や運営の規約があり、決められた予算や事業計画のもと継続して活動していること。

### ◆対象事業

- ①まちづくりへの理解と関心を深める講演事業
- ②地域のにぎわいを創出するイベント事業
- ③町民福祉の向上や地域の活性化のため、町長が適当と認めたソフト事業

### ◆対象事業

経費の3分の1以内で、限度額30万円

### ◆申し込み

6月30日（金）までに町企画財政課企画商工係（☎役場内線224）へ申し込んでください。

## 参加者募集

# くずまき高原満喫ツアー

自ら育て、収穫する。汗を流した分、喜びは倍になる。最初から手をかけると、おいしいんだなあ、これが！今年も、くずまきを満喫するツアーが始まるよ。

### 体験コース1

募集人員 25組

### 「マイボトル山ぶどうジュース」作り

場所：鍋倉地区の畑、ワイン工場

- ①7月9日（日）山ぶどうの木の剪定
  - ②10月7日（土）収穫とジュース作り
- 参加費 1回につき1,500円（昼食代含む）  
山ブドウの木の借上料1,500円（別途）

《申し込み期限》6月20日（火）定員になり次第、締め切ります。  
《問い合わせ先》農林環境エネルギー課（☎役場内線144）

### 体験コース2

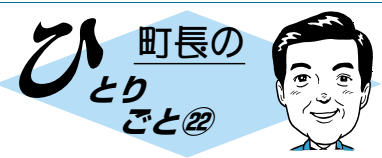
募集人員 12組

### 「あなたのそば」作り

場所：土谷川地区の畑、水車の里交流館

- ①7月22日（土）そばの種まき
  - ②9月下旬 刈り取り
  - ③10月上旬 脱穀
  - ④12月上旬 そば打ち体験
- 参加費 1回につき1,500円（昼食代含む）  
畑の借上料、そば種代1,500円（別途）

主催：くずまき高原グリーンツーリズム推進協議会



ひとりとこと  
先人の植林、育林の実践に感謝をし、森林組合の持つ資源を最大限生かした企画、実行に敬意を表するものである。

私は、「都市でできること、できないこと」「山村でできること、できないこと」を連携しながら、お互い発展的状況を構築するべきだと考えていた。このたび、葛巻町産材を使い、関東で一般住宅を約二百戸建設している埼玉県川口市の株式会社藤島建設。社長が葛巻出身で、これまでも町に対し多大なご寄附をいただいていた小岩金網株式会社。この二社が、森林組合の提案に「企業と森」と称する社有林の管理を森林組合に委託して、社員や都市住民の憩いの森になるように整備していくというものであり、岩手県では初めてのことである。

### 都市と山村の連携 「企業と森」の設置